

歴史都市京都における密集市街地・細街路の防災まちづくり情報誌

ろじマチ通信



いろんな取組、進んでいます！

令和6年の始まりの日に、能登半島で最大震度7（京都府内は震度4）を記録する地震が発生し、この地震による石川県内の住宅被害は4.6万棟を超えています。能登半島地震は、激甚災害に指定され、1カ月経過した時点でも、約1.4万人の避難者が避難所生活を余儀なくされており、日本全国が不安を覚える大震災となりました。

そして、京都市では、木造密集市街地を災害が起こる前から、地域が防災上の課題を把握して災害に強いまちをつくる「防災まちづくり」を継続して推進しています。

今回の「ろじマチ通信」では、計画策定を経て各学区などが進められている防災まちづくりの取組を一部ご紹介します。



元学区の合同チーム

（東山区：東山泉ぼうさい協議会）



大学生も防災まちづくり

（東山区：今熊野学区）



災害時のICT

（下京区：醒泉学区）



地域のお寺

（上京区：翔鸞学区・仁和学区）



160mの防災訓練

（東山区：栗田学区）



小学生も防災

（上京区：正親学区）



民間企業も防災まちづくり

（京都市）



元学区の合同チーム

東山泉
学区
(東山区)

東山泉小中学校に
統合された一橋・月輪・
今熊野の3学区が共同で
「地域の集合場所」プレ
ートを製作されました。
デザインは地元大学生※
が作成し、住民投票によ
り決定しました。
色鮮やかな陶板が、約1
10か所に取り付けられ
ます。

※京都女子大学
生活デザイン研究所

災害時のICT

令和4年度に防災まちづくり計画を策定さ
れた醒泉学区。策定時から念願の「**地域
の集合場所**」プレートを設置されました。
プレートには各町内会の避難情報を報告で
きる二次元コードを記載するなど、ICT
の活用を考えられています。
今後は周知を徹底し、防災訓練などで避難
行動を確認されます。

醒泉
学区
(下京区)



地域のお寺



翔鸞
仁和
学区
(上京区)

※防災拠点としての協力に関する協定

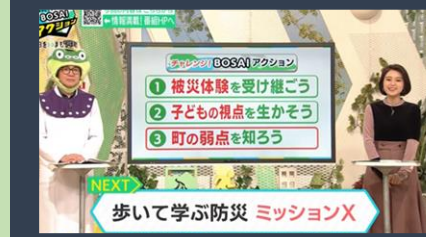
令和5年度 取組紹介

160mの防災訓練



栗田学区にある総延長約160mの入り組んだ
路地。その路地で、地震や火災時の避難・救助
に備え、防災訓練を実施されました。
消火訓練では近くを流れる白川から路地まで、
バケツリレーを体験、大盛り上がりでした。
避難経路の改善や日頃の備えについてアイデア
が続々と出され、あっという間に時間が過ぎ、
「普段から顔の見える関係づくり」に繋がりました。

栗田
学区
(東山区)



明日をまもるナビ
チャレンジ! BOSAアクション



NHKの番組で、「**ミッションX**」が紹介されました。
ミッションXは、正親小学校生のための防災オリエン
テーリング。学区内に設置されたポイントでミッ
ションをクリアしてゴールを目指します。
実際にまちを歩き、地域の方とふれあいながら防災
リスクについて考え、学びました。

正親
学区
(上京区)

小学生も防災

行政の抱える課題を民間企業とともに
解決する「KYOTO CITY OPEN LABO」。
防災まちづくりに関する様々な提案を
多くの企業からいただいています。



民間企業も防災まちづくり

地域・企業・行政の
連携による防災まち
づくりに乞うご期待!



京都市

その他の防災まちづくりの
事例はこちら→



近隣の大学生が今熊野学区に
ある空き家を「**まちなかラボ**」
として活用する取組を始めま
した。
NPO京都泉山・今熊野学区
自主防災会協力のもと、専門
家の指導を受けながら、学生
自ら改修作業を始めています。

※京都美術工芸大学

大学生も防災まちづくり



路地・まち防災まちづくり計画を認定しました

粟田学区（東山区）と醒泉学区（下京区）の2学区が3年間の活動を経て、防災まちづくり計画を策定され、京都市からそれぞれ認定書を授与しています。

あわた 粟田学区（東山区）

粟田学区の
取組紹介はこちら



粟田学区は、東山を望む三条通沿いに位置し、風情ある白川の町並み、人々の暮らしを感じる個性的な古川町商店街があり、また、京町家や路地が多く残る京都らしい町並みを有する地域です。粟田らしい街並みや路地、地域の繋がりを大切にしながら、安全性を高めるため、3年間で5件の具体の改善を実践されました。

計画策定後も、**路地の防災訓練**や路地の愛称付けプロジェクトなど継続した防災まちづくりの取組を進められています。



学区の中心部に五条堀川の交差点があり、マンションと路地が混在している醒泉学区は、防災まちづくり活動を開始後、主に各団体の副代表者で構成されるまちづくり委員会を、新たに立ち上げられました。

計画策定後も、防災まちあるきを継続するとともに、避難所運営マニュアルの更新作業に取り組みられました。今後は、防災まちづくり活動を発展させ、学区内にあるマンションとの連携強化のため、**マンション防災**に取り組まれます。



せいせん 醒泉学区（下京区）

醒泉学区の
取組紹介はこちら



令和5年度
取組スタート

むろまち

室町学区（上京区）

烏丸今出川周辺に位置する室町学区は、京町家や路地の京都らしい町並みが広がり、相国寺や妙顕寺などの史跡あふれる地域です。この室町らしさを残しつつ、安全・安心に暮らせるまちづくりを始められました。これまでに、防災上の課題や地域資源を抽出するため、計3回の防災まちあるきを実施されました。また、総合防災訓練やふれあい広場でも地域の魅力、町内の良いところの声を集められました。今後は、有志メンバーによる「**防災マップの作成**」や「**さくら広場の再生**」に取り組まれる予定です。



<お問合せ・ご相談はこちらまで>

京都市都市計画局まち再生・創造推進室（密集市街地・細街路対策担当）

TEL 075-222-3503 FAX 075-222-3478

京都市印刷物
第054949号
令和6年3月発行

→バック
ナンバー
はこちら



この印刷物が
不要になれば
「雑がみ」と
して古紙回収
などへ！

